

記 録 票

教育長	課長	主幹	課長補佐	係長	係員		
小西	真鍋			中川	大井	村重	浅井田
(関係課： )				報告者職名・氏名			嘉屋
				副主任 嘉屋 祐作			
件名 令和元年度教科用図書採択地区調査員全体会				方法 <input type="checkbox"/> 来庁 <input checked="" type="checkbox"/> 出張 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他			
内容 <input checked="" type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 質問 <input type="checkbox"/> （こちらから）照会 <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
令和元年 5月28日 15時00分				場所 廿日市市市民活動センター			
出席者	・大竹市教科用図書採択地区選定委員会 （小学校）会長 野崎大竹小学校長 （中学校）会長 吉岡玖波中学校長 ・廿日市市教科用図書採択地区選定委員会 副会長 光廣大野東小学校長 ・廿日市市教育委員会 岡寺学校教育課長，雨河指導主事 田村指導主事 ・大竹市教育委員会 小西教育長，真鍋総務学事課長，中川課長補佐兼係長 嘉屋			相手	・廿日市市調査員 ・大竹市調査員		
				手方			
1 はじめに （1）開会あいさつ（大竹市教育委員会 小西教育長） （2）採択地区選定委員会・事務局の紹介  2 事務局から説明 （1）教科用図書採択に関する組織・手続について （2）令和2年度使用教科用図書調査研究の観点について （3）教科用図書調査研究留意点及び報告について ①【教科用図書調査研究報告】（様式の作成方法等） ・【様式1-1】（観点ごとの具体的な視点） 5つの観点に基づき，調査員が研究をする際の具体的な「視点」を設定し，記							

入すること。

・【様式1-2】(調査研究結果)

(1) から (5) の観点に従って、具体的な視点による調査研究の結果を簡潔に記入すること。

・【様式2】(報告書要約)

調査研究結果を元に発行者ごとに長所・課題を簡潔に記入すること。

長所は○(しろまる)、課題は●(くろまる)で記入すること。

※フォントはMS明朝、文字サイズは10.5ポイントで作成すること。

※紙媒体・電子媒体ともに、取扱いには十分注意し、すべての調査終了後に配布資料等はすべて各採択地区の事務局へ返却すること。

※電子データについても、パソコンのメールやフォルダに残らないよう、終了後すべて削除すること。

②【調査研究の留意点について】(報告書の提出等)

・提出期限：【小学校】令和元年7月5日(金)

【中学校】令和元年6月28日(金)

提出書類：様式1及び様式2

・配布物について

各教科の見本本を配布するので、持ち帰ること。

(大竹市の調査員には事前に配布済み)

調査終了後には各採択地区の事務局へ見本本を返却すること。

・令和2年度使用教科用図書選定資料は広島県教育委員会から届き次第連絡する。

・令和2年度使用教科用図書編集趣意書については1部を配布する。

・全発行者の教科用図書について調査研究し、報告すること。

・1発行者の教科用図書について、必ず複数の調査員で調査研究すること。

・教科用図書調査研究の観点に基づく具体的な調査研究の視点については、調査員(会)において定めること。

・報告書及び要約の作成については、発行者の長所だけでなく、課題と思われる点についても報告すること。

<その他の注意・連絡事項>

- ①適正かつ公正な採択の確保のため、調査員会の開催・内容等については、外部にもれることがないように、十分に配慮すること。
- ②配布物の取り扱いに十分注意すること。調査研究報告終了後は、全ての配布物を市教育委員会へ返却すること。
- ③開かれた採択の推進の観点から、調査員名は情報公開の対象となる。
- ④調査研究は（原則）勤務時間内開催とし、廿日市市内の市民センター等を利用する場合には、配布した申請書を活用すること。

3 質疑応答

→無し

4 閉会あいさつ（廿日市市教育委員会 岡寺学校教育課長）

